


日塗工 整理No.(日塗工記入)		2015-48		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所							
災害発生日時		2015年 10月 5日(金) 9時40分 天候(晴れ) 温度(およそ25℃) 湿度(%)					
災害区分		不休災害 <input type="checkbox"/> 休業災害 <input checked="" type="checkbox"/> (休業:11/19現在45日)					
被災者	部門	製造課充缶班		雇用形態	正社員、 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣、契約、その他()		
	年齢	51歳	性別:	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	勤続年数	3年	経験年数 3年
	傷病名	病名 (骨折)					
	傷病部位	右腕					
災害発生状況	状況概略(写真orイラスト)			 <p>検証時再現写真: 事故発生時はゴム手袋を着用</p>			
	1. 工場2F仕込場で顔料を仕込作業中、φ50cmの容器に入っている溶液を攪拌しながら20kgの顔料投入作業をしていた。						
	2. 静電気防止用のアースグリップが外れ、容器内に落ちた為、アースコードを引き上げようと引っ張ったところ、攪拌機の回転軸にアース線と共に右手が巻き込まれた。						
	3. 近くにいた作業者に声を掛け、攪拌機を止めて貰い、回転停止後に巻き付いたコードと共に右手を抜いた。						
	4. 後日、容器の固定がされていなかった事が判明した。						
災害の型 ^{※1)} : 5 巻き込まれ			作業の形態: <input checked="" type="checkbox"/> 定常、 <input type="checkbox"/> 非定常、その他()				
起因物: 攪拌機			特記事項: 少量生産				
原因分類	1. 人的要因(man) (不安全行動)	咄嗟の出来事で、設備の停止が出来ず、側にいた作業員に声掛けして攪拌機を停止する前に手を出してしまった。					
	2. 物に関する要因(machine) (設備の選定不良)	アースグリップを容器の縁に上から付けていた事による容器内落下。少量製造に対する設備が不足し、攪拌羽根の高さ調整の為、大きな移動容器に固定されないまま載せて使用していた。					
	3. 環境要因(media)	当初は非常作業だった少量製造が常態化してしまっていた。					
	4. 管理的要因(management) (作業手順不備)	攪拌機の危険性教育は出来ていたが、片手落ちで、容器の固定まで安全教育が至らなかった。					
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・暫定措置として当該場所での100L以下の小型(寸胴)容器は、手混ぜ作業とし、容器が固定出来る場所で攪拌を行う事とし、大容器に小容器を入れて行う作業不安定作業を禁止した。 ・可能な製品は少量容器を使用しない製造サイズまで上げる変更を行った。 ・通常使用する移動容器に対しても輪留めをした後に作業する手順の遵守を工場内で再確認した。 ・静電気火災予防のアースの取付は容器の持ち手部分にグリップを下から取り付ける事を再確認した。 ・構内作業の不安全箇所を洗い直し、回転体への警告、作業確認手順、安全五原則の掲示を実施した。 						
	対策分類 ^{※2)} : 1安全基盤、1-2想定と対応、2-4危険認識、2-6学習伝承						

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)

< 掲示例 >

安全五原則

- 一、5Sなくして安全なし
- 二、不安全行動はしない させない
- 三、身体を守れ 保護具の着用
- 四、回るモノ・動くモノは全て危険 さわらない
- 五、異常があったらすぐ止める

本社工場長

- ・ 器具・機械は固定した？
- ・ ナースは正しい設置法？
- ・ 回転体に手を出さない？

YES → **始動OK**